

まちの 話題

見とこ 知つとこ

日
々
好
日

みんなの南部

南部町の野菜はおいしいな 〜学校給食週間〜

1月24日（火）から30日（月）は全国学校給食週間と定められ、町内の小中学校でも日頃の給食を調理される方や生産者の方、自然の恵みにあらためて感謝の気持ちを表しました。

25日（水）には町内の両給食センターを通じ学校給食に食材を提供している食材供給連絡協議会（秦野会長以下30名）が西伯小と会見小を訪れ、児童と一緒に給食を食べました。生産者で組織する食材供給連絡協議会の皆さんは、提供した食材がどう料理され、子ども達がどんな気持ちで食べているのか学校給食週間に良い機会ととらえ交流給食を提案されました。当日は、協議会の生産者の方から提供された白菜、サトイモなど8種類が調理され給食になりました。

子ども達に好き嫌いを聞いてみると、嫌いなものは野菜が多く、特にピーマン、ニンジン、トマト

など苦手とする子どもが目立ちました。西伯給食センターの平井栄養士は「たくさん野菜を食べてもらうようおいしく調理することを心がけています。」と子ども達の栄養、健康を一番に考え献立を立てられています。

3年生の武海君は「好き嫌いはありません。」と元気良く話しをしてくれました。

一緒に給食を食べた秦野会長は子ども達がおいしそうに食べている姿を見て、「地元の野菜を食べてもらったため、もっと生産量を増やしたい。」と意気込んでおられました。



毎日おいしく食べてます

地域のことを考える 〜老人クラブ連合会役員研修〜

1月24日（火）南部町老人クラブ連合会（福間成史会長）の役員研修が行われ、地域自治構想について地区役員70名が学びました。

「高齢社会、独居世帯の増加などに対応するためにも、地域で支えあえる新たな組織が必要となってくる」と研修の冒頭に坂本町長が挨拶をした後、地域政策課からめざすまちづくり、地域自治組織について説明を聞きました。

福間会長は「他の団体や地域との連携を進めることが老人クラブにも必要なことである」と、積極的に係わっていきたい。」と話されました。



グループに分かれそれぞれの思いが話されました